

第1学年国語科学習指導案

1 単元名 表現技法を活用した、詩の創作

「詩の心一発見の喜び」(新しい国語1 東京書籍)

「描写や表現技法を用いる」(新しい国語1 東京書籍)

「海の風景」(砂の枕 岩谷書店)

2 単元について

「詩の心一発見の喜び」は、詩人である嶋岡農氏が三編の詩について、それぞれの特徴を踏まえつつ解説しており、詩の読み方・味わい方に触れることができる文章である。学習指導要領〔思考力、判断力、表現力等〕における「C 読むこと」の指導事項に「エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。」とある。表現の効果について、描写の仕方や表現技法に着目し、そこにつづられている言葉の新鮮さに気づくことは、日頃何気なく見過ごしている日常の風景や物事を言葉で再発見するとともに、自分の世界を広げることにもつながっていく。また、表現技法を用いることの良さについて考えを深めるために、単元の最後に「海の風景」と自作の詩を比べる活動を設定する。そして、「描写や表現技法を用いる」と関連させ、表現技法を実際に活用した詩を創作することで、単に用語を覚えるだけではなく、自分の心が動いた風景を、読み手に伝わるように描き出し、他者と思いを共有することの素晴らしさに気づかせたい。

3 単元の目標

- ・表現技法を理解し、使うことができる。【知識及び技能】
- ・詩の構成や表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・言葉のもつ価値に気づくとともに、自分の思いや考えを伝えることができる。【学びに向かう力、人間性等】

4 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・表現技法を理解し、詩の中に用いている。 (1) オ	・詩の構成や表現の効果について、根拠を明確にした意見をもっている。C(1) エ	・言葉のもつ価値に気づくとともに、自分の思いや考えを相手に伝えようとしている。

5 単元の学習指導計画(全5時間)

- (1) 「詩の心一発見の喜び」を読み、表現の工夫などについて考える。(習得) 2時間
- (2) 「海の風景」と自作の詩を読み比べ、表現の良さについて考える。(活用) 1時間(本時)
- (3) 表現技法を用いて、詩を創作する。(活用) 1時間
- (4) 互いの詩を鑑賞し、気づいたことを伝え合う。(活用) 1時間

6 本時の学習指導

(1) 目標

- ・二つの詩を比較して、表現技法の良さについて考えることができる。

(2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
1 「海の風景」で表現技法について確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・風の五線譜や詩の心で表現技法を習ったな。 ・倒置法や、対句、反復、擬人法などたくさんの表現技法が使われているな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで習ってきた表現技法を振り返らせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【学習課題】 なぜ詩には表現技法が多く用いられるのだろうか。 </div>		
2 二つの詩を比較する。 (1) 表現技法を用いた詩の良さを個人で考える。 (2) 良さを班で共有する。 (3) 良さを全員で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「鴬がABCを書く」は、「鴬が飛んでいる」と比べて鴬が悠々と自由に飛んでいる様子が伝わってくる。 ・「白波は綿羊の群れであろう」は波がもこもここと波打っている様子が想像できるな。 ・表現技法を用いる方が、読み手に自分の思っている景色を伝えやすいのではないかな。 ・詳しく説明するよりも少しあいまいな表現の方が、想像がよりできるかもしれないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の良さについて、詩の中の表現を用いて示すようにさせる。 ・自分の考えが書きにくい生徒には、どの言葉に心がひかれたのか、なぜひかれたのか問いかける。 ・生徒の言葉で良さを共有させる。
3 「とても冷たいこと」を直喩で表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・北極のように冷たい。 ・別れたばかりのカップルが相手を見つめる視線のように冷たい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に表現技法を使うことで、表現技法を使うことの面白さを実感させる。
4 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・表現技法を用いることで、自分の伝えたいことがより相手に伝わるようになった。 ・「冷たい」だけでもいろいろな表現ができるので、より相手に伝わる表現を考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言葉で振り返りシートに記入させる。 ・次時には本時で習った表現技法を用いて、詩を創作することを伝える。

(3) 評価

- ・表現技法の良さについて考えることができたか。(観察、ノート)